

- 重要な学習事項：受動態
- クラスアクティビティ：パターンプラクティス、英作文、スキット作り
- 関連する既習事項：be 動詞、分詞
- ねらい：受動態を含む英文を理解し、自分のことを言ったり、書いたりすることができる。
- 取り出し時間数：2時間

学習過程	学習活動	指導の流れ	学習・日本語支援														
<p style="text-align: center;">導 入</p>	<p>○日本語の能動態と受動態の表現の違いを理解する。</p>	<p>○日本語の主語を転換して、能動態と受動態の表現の違いを理解させる。</p> <p>T：辞書を示しながら、(S)～さんは、この辞書を使います。では、この辞書は・・・使います、ではおかしいですね。この辞書は・・・、どう言えばよいですか。</p> <p>S：この辞書は使われます。</p> <p>T：そうですね。Sさんはこの辞書を使います。この辞書はSさんに使われます。</p> <p>(板書)</p> <p><u>マリオは、この辞書を使います。</u>(能動態)</p> <p><u>この辞書は、マリオに使われます。</u>(受動態)</p> <p>次の能動態を受動態では何というか、日本語で確認する。(カード)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">怒ります</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">怒られます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作ります</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作られます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書きます</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書かれます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読みます</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読まれます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話します</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話されます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聞きます</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">聞かれます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食べます</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食べられます</td> </tr> </table>	怒ります	怒られます	作ります	作られます	書きます	書かれます	読みます	読まれます	話します	話されます	聞きます	聞かれます	食べます	食べられます	<p>●習得している日本語を使った対話を通して、授業で取り上げる話題の方向性や状況を把握させる。 [理解支援]</p> <p>○日本語の能動態と受動態の違いが分かるように板書する。 [理解支援]</p> <p>○日常よく使う単語を能動態と受動態のカードを用意し、生徒に問いかけながら確認する。できれば文として示す。 [記憶・理解・表現支援]</p>
怒ります	怒られます																
作ります	作られます																
書きます	書かれます																
読みます	読まれます																
話します	話されます																
聞きます	聞かれます																
食べます	食べられます																

○受動態の英文を理解する。

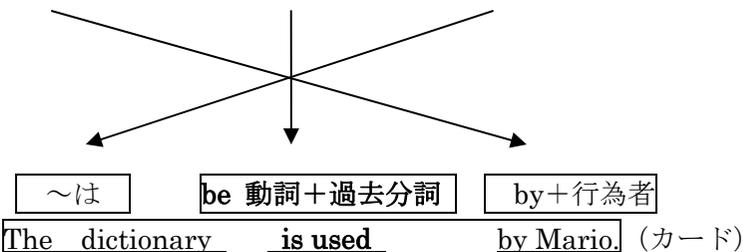
○提示されたモデル文をもとに、パターンプラクティスを行う。

○受動態「be 動詞+過去分詞」の英文を理解させる。

マリオはこの辞書を使います。(能動態)

Mario uses the dictionary (カード)

～は ～する ～を



この辞書は、私たちに (よって) 使われます。(受動態)

○ ①②③を代入し、口頭練習を行う。(カードまたは絵)

The dictionary is used by Mario.

① ② ③

① The book / The computer / The eraser / The pen

② was bought / was written / was given

③ by me / by my brother / by him / by her / by them

○絵またはカードを用いて、日本語で状況説明をし、英語で作文させる。

(絵)

① 公園/ コーラ/ 私の兄

② 動物園/ 象/ 多くの人

③ 学校/ 英語/ ぼく/ 私/ 田中先生

①について

絵やカードの状況を日本語で能動態と受動態で言う。

「公園で私のお兄さんはコーラを飲む。」(能動態)

○日本語および英語の能動態と受動態の違いが分かるように、カードや板書を工夫する。

[理解支援]

○パターンプラクティスに使う英単語等を示したシートや絵を用意し、それらの意味を確認した後に口頭練習を行う。

[表現支援]

●生徒の実情に合わせ、英語を繰り返し口頭練習する際に、対応する日本語も繰り返し言わせる。

[理解・表現支援]

<p>運 用</p>	<p>○ (例1) アイデンティティやエスニックルーツに関連する英作文を書かせる。</p>	<p>「公園でコーラは私のお兄さんに飲まれる。」(受動態)</p> <p>① ③についても同じように日本語で言う。 英語を作文させる。難しい単語については教師が適宜に指導する。</p> <p>① We see a lot of cherry blossoms in that park. A lot of cherry blossoms are seen in that park.</p> <p>② Many people see elephants in the zoo. Elephants are seen by many people in the zoo.</p> <p>③ Mr.Tanaka teaches me English at school. English is taught by Mr.Tanaka at school. I am taught English by Mr.Tanaka at school.</p> <p>○ () に自分に関する語を入れて英文を完成させる。また日本語で表現させる。</p> <div data-bbox="651 775 1301 1023" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>I am from (). I live in () in Japan. () is spoken in my country. I can speak both () and (). ().</p></div> <div data-bbox="651 1067 1301 1382" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>解答例)</p><p>I am from (Brazil). I live in (Tokyo) in Japan. (Portuguese) is spoken in my country. I can speak both (Portuguese) and (Japanese). (I want to be an interpreter in the future).</p></div>	<p>●生徒の母国や実情に合わせて、左のようなワークシートを用意する。 [理解支援]</p> <p>○生徒の表現したいことを見取り、適宜にヒントを与える。 [表現支援]</p>
----------------	---	---	--

○ (例2) 能動態と受動態の表現を使った英語のスキットを行わせる。

○ 状況説明を行い、モデルスキットを提示する。

状況 : ある日の母親と子どもの対話

登場人物 : お母さん、お兄さん (トム)、私 (キャッシー)

Cathy: Mom, where is my cake?

Mom : In the box on the table.

Cathy: Nothing.

Mom : It's strange.

Cathy: Tom, do you know where my cake is?

Tom : In my stomach, I ate the cake.

Cathy: Really?!

Mom, my cake () () by ().

- スキットの内容を日本語で確認し、最後にキャッシーの台詞を完成させる。

「私のケーキはトムに食べられちゃったのよ。」

- モデルスキットの発音練習をする。
- 教師や生徒同士でスキットの発表を行う。
- 能動態と受動態の英語と日本語の確認をする。

Tom ate my cake.

My cake was eaten by Tom.

「トムが私のケーキを食べた。」

「私のケーキはトムが食べられちゃった。」

(日常的日本語から英語的日本語に言い換えさせる。)

「私のケーキはトムに (よって) 食べられた。」

- 生徒の日本語力に合わせて、分かりやすい日本語で状況説明を行う。 [理解支援]

- 日常的な日本語で答えられた生徒には、英語の文法を意識した日本語にもふれておく。

[表現・理解支援]